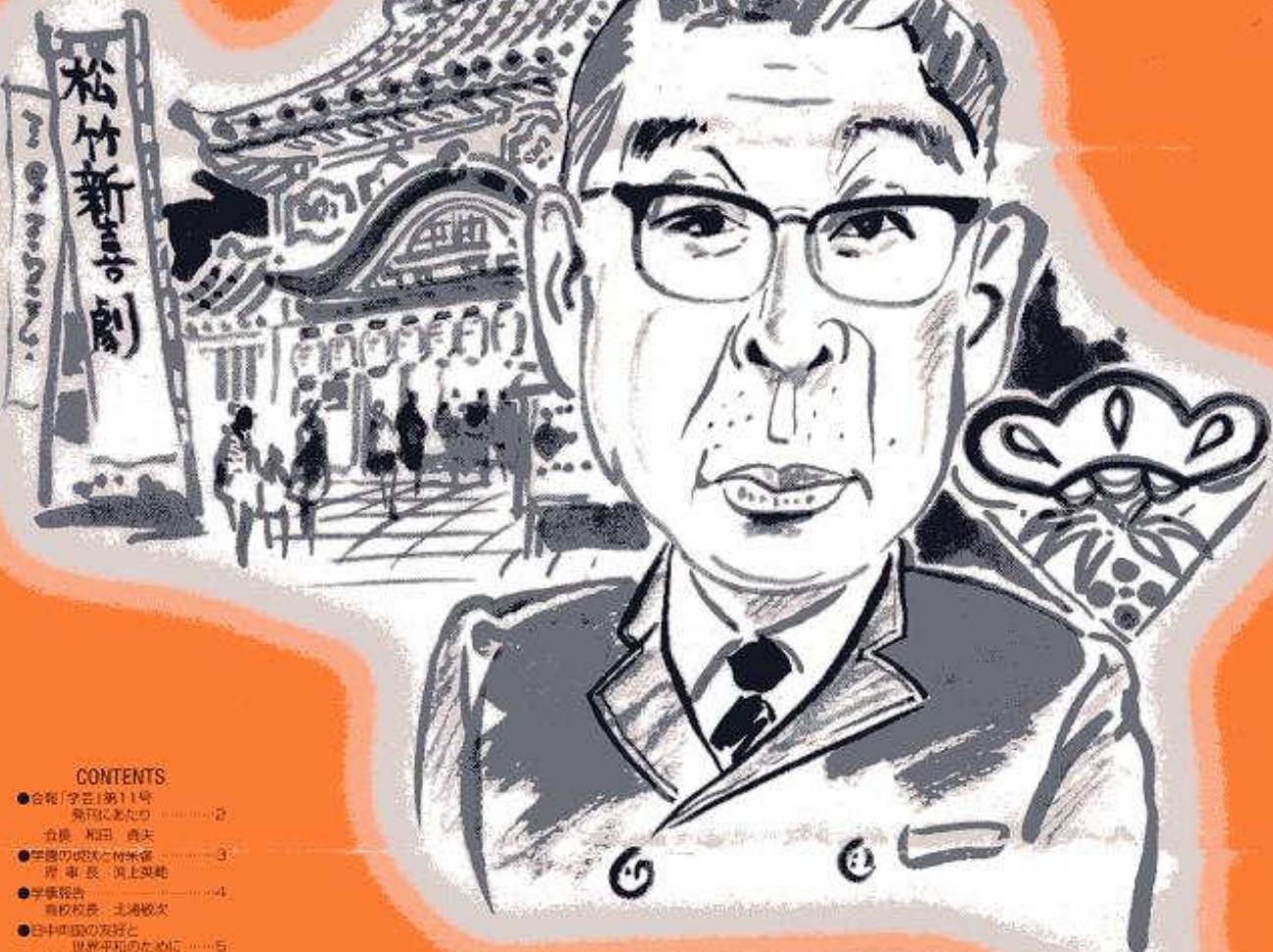


# 学芸



## CONTENTS

- 会報「学芸」第11号  
発刊にあたり ..... 2  
会長 稲田 達夫
- 学園の状況と特徴 ..... 3  
序 事 業 活動実績
- 学業報告 ..... 4  
高校校長 北浦敏久
- 日本中の國の友好と ..... 5  
世界平和のために 合長 K井 達夫
- 行事報告 ..... 6
- 活動報告 ..... 8
- 青年部活動報告 ..... 9
- 「算く未来へ」 ..... 10  
PTA会長 田口江美子
- 伊丹修次名譽会長が  
100歳の誕生日 ..... 10
- 平成18年度年賀行事のご案内 ..... 11
- 会報 ..... 11
- 「学園開拓者被賞之録」 ..... 12  
建庭に口説ひを
- 創設記念立石先生芳名録 ..... 13
- 平成18年度成器会への  
男を古市耕一 ..... 14
- 祭事 ..... 14
- 募金者芳名録 ..... 15
- 平成18年度決算報告 ..... 16
- 年会費納入に  
ついてのお願い ..... 18
- 猪俣源太郎氏の  
生い立ち ..... 18
- 平成18年度総会及び  
懇親会のご案内 ..... 19
- あとがき ..... 19

第11号  
2006



成 器 会  
(大阪学芸同窓会)

# 会報 第十一号発行にあたり



## 成器会会長 和田貞夫

校祖の遠藤二吉先生が一〇二年前の一九〇二（明治35）年六月に大阪市浪速区馬渓町（現在の戎本町）丁目）に成器商業学校を創設されて、今まで一〇〇年の歴史を踏んで参りましたが、学校名も成器商業学校から成器高等学校・成器高等学校・大阪学芸高等学校に又学校法人名も成器学園から大阪学芸へと変更されて参りましたが、「進取の旗のさすところ…」という校歌は現在まで歌い継がれています。古い卒業生程「成器」という名称がなつかしく感じられていることでしょう。然し校名も法人名も現実には変更されて参った以上は同窓会名も何れは改正すべきであるとして約一年半前から検討されてきましたが、昨年の同窓会総会で議論の末、同窓会名を「成器会」とするに決定致しましたの

で今後とも将来にわたって「成器会」という名称は残されることになりますので卒業生、同窓会のみなさんには報告申し上げる次第であります。

同窓会が結成されたのは一九七四年で当時校長であつた渡壁辰夫先生（二部22期生）と当時教諭であつた橋本幸太郎先生（一部35期生）が初代同窓会長の伊丹啓次氏（二部20期生・同窓会名誉会長）等に働きかけられ相談の結果発足されたものであります。以来、二代会長山田政次郎（二部21期生）三代会長井内博見（高校2期生）の各氏に引継がれて参りました。

同窓会の生みの親でもある渡壁同窓会顧問がいつも口癖にされているのは「卒業生はいつまでも兄弟という気持ちで付き合いができる仲間でありたい」という言葉です。一〇〇年以上の

学校歴を有する二万余名の卒業生はいつも兄弟という気持ちで付き合いたいものだと思います。自分の卒業した学校に愛着を感じ学ぶのは卒業生以外にはありません。そのため優秀な生徒を集める役割を果たすのも卒業生であり、教師を目指す卒業生は優秀な教師になつて本校の教壇に立ち、立派な卒業生が巣立つていくための努力をすべきではないでしょうか。

又社会人としてそれぞれの分野で頑張り、卒業生がお互いに助け合つて行くことができるのでしょうか。それに他人の前で堂々と卒業した母校の名が言えるような学校にしてゆくことが大切です。その役割を果すのが卒業生であり、同窓会の役割だと思います。

同窓会の果す役割が大切であり、必要なならば同窓会の組織を強化する必要があります。事務所も事務員も必要とするとなら財政面の強化も必要になります。

今年も成器会強化について提言致します。まず第一に「同窓会員の連帯意識を高めること」です。何かよい手段や方法があればお聞かせ下さい。

第一は「成器会の財政基盤を固める」とです。何かよい智恵があれば教えて下さい。

第三は「事務局の設置」ですが、第一

・第二が解決すれば第三については解決され同窓会活動も活発になること疑いありません。

昨年十一月には前会長の故井内博見氏の一周年の法要が當まれ代表でお参りしてきました。渡壁辰夫顧問は八十才になられましたが、「健康で」活躍されています。伊丹啓次名誉会長は、昨年末十一月二十一日二〇〇才の誕生日を迎えてました。なお一層健

康に留意され成器会への「高見を賜りますようお願い致します。

終りに当り皆さんの「健勝をお祈り申上げて成器会活動への一層の「協力を」とお願い申上げまして」「挨拶と致します。



## 学園の現状と将来像



理事長

渕上 英範

る者として、その管理・運営に関する確固たるビジョンや方針と実行力を持たねばならないと痛感しています。

現在、高等学校の生徒数約千五百名、中等教育学校八百名、合わせて一千三百名の生徒数は、大阪の私立学校九十三校の中で五番目に位置する規模です。教職員も約二百名が勤務しています。

最近「大阪学芸のイメージがすっかり変わった」、「大阪学芸は生まれ変わった」と言われます。この言葉の意味するところを、好意的に解釈すると、「大阪学芸は、レベルも上がり、立派な進学校になつた」と評価してもらつてあるといつ」とでしょうか。

衰められたついでに自画自賛させていただくなれば、大阪学芸の良い所は、現時点に留まるものではなく、今後さらに発展していくエネルギーを蓄積していることです。それは何かと言えば、有能な教職員が揃い、研鑽を怠らない集団が日々成長し続いていることです。この力が十年、二十年後にきっと開花することでしょう。

三万数千人の卒業生と、百二年の歴史を考えると、本学園の存在感は尚一層、重量感を持つて実感できます。そのような学園の責任ある立場にあ

7%）へと増加し、長期にわたって低迷を続けています。

期校と後期校をつくって受験チャンスを一回から二回に増やしたり、また十

「勝ち組」、「負け組」といわれる両極化が進み、二、三年内には、倒産（生徒募集停止）第一号が出るのではないかといわれています。

「生き残り」を賭けた公私間競争、私私間競争は際限なく続き、また激化していくばかりです。ちょっとした方

関同立の合格者数は三百八十五名、これは大阪の高等学校一百九十五校中二十一番目、私立学校中八番目に位置するものです。

これら量と質の現状は、戦後六十年の歴史の中で、最も高い到達点にあるのではないか。大阪学芸の良い所は、現時点に留まるものではなく、今後さらに発展していくエネルギーを蓄積していることです。それは何かと言えば、有能な教職員が揃い、研鑽を怠らない集団が日々成長し続いていることです。この力が十年、二十年後にきっと開花することでしょう。

卒業生の皆さんには、母校の置かれた実情をよく理解いただき、教職員が後顧の憂いなく教育活動に打ち込めよう、ご支援いただきたいと思います。

今、学園の大きな課題は「学園の維持・存続」だと考えます。「なんだ、つまらない」と思われるかもしれないが、少子化の進行と公立学校との厳しい競争によつて、募集定員を充足できない学校がどんどん増えています。大阪の私立高等学校九十校のうち、募集定員を充足できなかつた学校は、十五年前の平成二年二十四校（二十六%）から、平成十七年には六十校（六十

7%）へと増加し、長期にわたって低迷を続けています。

「生き残り」を賭けた公私間競争、私私間競争は際限なく続き、また激化していくばかりです。ちょっとした方針の過ちが、学園の成長・発展を止めてしまい、「元の木阿弥」にならないよう、慎重な学園運営を心掛けたいと考えています。

卒業生の皆さんには、母校の置かれた実情をよく理解いただき、教職員が後顧の憂いなく教育活動に打ち込めよう、ご支援いただきたいと思います。

要するに、「学園の維持・存続」というのは、九十三校中、三十五校に残ることですから、大変な労苦を伴うも



## 平成17年度 三年制課程学事報告



高等学校 校長

北浦 敬次

平素は本校教育の充実発展のため  
に、同窓会の皆様から力強いご支援を  
賜り深く感謝申し上げます。

「一人一人の生徒を大切にする」を  
モットーとし、時代に対応した質の高い  
教育を実践するには、正確な現状認  
識を得てこれをフレンドパックし改善  
計画へ結び付け実行することです。い  
わゆるPDCAサイクルの確立です。

本年度は取り組みを具体化し着々と進  
めています。その一端を紹介します。

本年度は特進コース、進学コースと  
も全生徒による「授業評価」を導入し  
ました。評価結果を各教員に報告、教

員一人一人が評価を受けて気づいたこ  
とをもとに授業改善の方策を具体化し  
授業に生かす、という綿密なもので  
す。後半二回目の「授業評価」では、生  
徒は教科担当教員への好感度を上げ、授  
業に対する姿勢が意欲的になり学力向上を  
実感すると思

います。教職員一人一人が課題を持ち授業や  
生徒の指導で協力・共働していくことで、本校

の日指す教育の目標が達成できます。  
年度初めに、各コース・分掌（教務部・生  
徒指導部・進学指導部）・各学年・と各部  
署ごとに、達成すべき目標を数値化、  
具体的活動計画等を詳細に設定した活  
動計画を策定しました。10月活動計画  
の中間反省を各部署でまとめコース毎  
職員会議で進捗状況を確認し後期に向  
けて目標の見直しを行っています。

特進コース・進学コースとも年間授  
業計画（シラバス）を作成、コースご  
とに一冊にまとめ全生徒に配布しまし  
た。従来各教科に任せていましたが、  
見やすい形式に統一したため生徒に  
とっては一年間の学習の指標ができ予  
習・復習など学習計画が立てやすくな  
っています。

「上手くいっているからそれで良い  
のではないか」という発想では本校の  
持つてなし得るとは思えません。私学  
にとって厳しい環境の中、築かれつ  
ある本校の「ブランド力」をより確か

平成16年度卒業生五百五十三名の進  
路は、大学進学希望四百六十一名、専  
門学校八十名、就職十二名で大学合格  
状況は国公立大学三名、関関同立百十  
名・難関私大への合格実績をさらに伸  
ばすことです。選抜特進コース一期生  
が卒業する二年後の進学実績の飛躍を  
めざし、「確かな学力」をつけさせる  
ために本年度取り組んでいる成果が期  
待されます。

本年の入学生は三百三十九名（九ク  
ラス）、在籍生徒総数は千五百三十一  
名（三十八クラス）余裕教室がない状  
況です。平成18年度入試は中学卒業生  
がさらに減少という厳しい中で募集人  
員四百名を集めると目標をたて、中  
学校、学習塾への積極的な募集活動を  
行い、生徒・保護者対象の入試説明会  
にオープンスクールを取り入れるなど  
アイデアを生かした取り組みを進めて  
います。

クラブ活動は運動部八、文化部六、  
芸術部は花博記念公園鶴見緑地に  
て、私学生大会が開催され即日の表  
彰で大賞、奨励賞を受賞、大阪府高等  
学校美術文化連盟美術・工芸部門展に  
おいて入選を果たし、大阪私立学校美  
術展覧会で、洋画部門で優秀賞、奨励  
賞を受賞しました。展覧会の様子と受  
賞作品が本校ホームページにて公開し  
ていますのでご覧ください。

手道部は、男女とも限られた活動時間  
の中で鍛錬に励んでいます。男子個人  
型でインターハイ出場、大阪高校總体  
では男子団体型で優勝、女子個人型で  
準優勝しました。

野球部は高校野球選手権大阪大会に  
おいて惜しくも一回戦で敗れ次年度こ  
そと熱心に練習に励んでいます。

文化クラブではギター部は第二十三  
回ギター・マンドリン音楽祭で銀賞、

全観客の前で連盟会長の講評があり、  
本校の音楽的な成長についてお褒めの  
言葉があり部員には大きな自信となり  
ました。

吹奏楽部は中地区大会で金賞、OC  
A Tボンテ広場での野外コンサート、  
大阪万博記念公園でのマーチングの祭

典（フラエキスポ2005、住吉警察よ  
り依頼を受けた防犯キャンペーンのバ  
レード、本校入試説明会でのミニコン  
サートなど様々に催しに参加して、日  
頃の練習の成果を披露しています。御  
堂筋パレードにも参加し盛大な声援を  
うけました。

美術部は花博記念公園鶴見緑地に  
て、私学生大会が開催され即日の表  
彰で大賞、奨励賞を受賞、大阪府高等  
学校美術文化連盟美術・工芸部門展に  
おいて入選を果たし、大阪私立学校美  
術展覧会で、洋画部門で優秀賞、奨励  
賞を受賞しました。展覧会の様子と受  
賞作品が本校ホームページにて公開し  
ていますのでご覧ください。

後になりましたが、同窓会の益々の  
ご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り  
いたしますとともに、学校に対する一  
層のご支援をいただきますようお願い  
いたします。

## 日中両国の友好と 世界平和のために

本年は第二次世界大戦が終結して八〇周年を迎えました。

和田貞夫

州事変・一九三一年九月一八日)が発  
火点となり、満洲カイライ国(一  
九三一年三月一日)、平頂山事件(一  
九三一年九月一六日)、國際連盟脱退  
(一九三三年三月二八日)、蘆溝橋事  
件(一九三七年七月七日)、日中全面戦  
争に発展、ノモンハン事件(一九三九  
年五月一日)、太平洋戦争に突入(一  
九四一年一二月八日)して、第二次世  
界大戦となりましたが、一九四九年八  
月には、日本が無条件降伏をして大戦  
は終結致しました。柳条湖事件以降約  
十五年間に亘り、中国を始め、東南ア  
ジア諸国の人々には大変ご迷惑を掛け、  
申し訳なく思っていますが、特に

中国全土にわたり、霸権や侵略を繰り返し、非戦闘者の一般国民にまで甚大なる被害と損失をもたらし、償いようがありません。ところが、日中平和条約の締結によって、国交が回復されましたが、その際、中国側は「日本の中國侵略戦争は日本軍国主義者の戦闘行為であり、日本国民にはその責任はない」との態度を執られ、一切の損害賠償

日本国を代表する首相が参挙する」とは、中国国民を逆撫でするような行為であり、中国指導者としては「の」と黙視することが出来ないという至極当然の態度を厳守していますが、そのことが原因となりて今日の悪化している日中両国関係をつくっているのではないか。」



私はこのたび大阪で組織されている  
侵華歴史伝講会（大阪中國侵略の歴史  
を語り継ぐ会）会長として、約三十名  
の訪中団（いつも一部四十期生の東川  
博君が同行参加してくれています）を  
編成して、戦争終結六十周年に際し、  
十五年戦争の発火点となつた柳条湖事  
件勃発地跡に建設されている「九一  
八記念館」の向かい側に面して、「反  
霸權・反戦争・反侵略」の碑文を刻し、  
た平和の碑を建立して帰国して参りました。



除幕式には遼寧省人民对外友好協会の董錦芳副会長を始め、沈阳市（旧奉天市）の幹部達も出席され、一般市民も多数参加のうえ、盛大に挙行されました。

この碑は今後永久に沈阳市を訪れる  
日中両国民の目で見守られ、日中両國民



# 行事報告

## 定期総会・懇親会

平成17年度

副会長 米田 弘

《総会》

平成十七年五月二十一日（土）午後三時より五十八名の出席者のもと、なんば道頓堀ホテルに於いて定期総会が開催されました。

司会者仲西晃副会長の開会宣言で始まりました。和田貞夫会長の挨拶があり、続いて近藤永大阪学芸高等学校教頭より学事報告などの挨拶を受けました。

議長は米田弘副会長、副議長に漣良介副会長が選出されました。

報告事項

平成十六年度「行事報告」西野仁彦

副会長

「決算報告」井原副会長兼会計  
「監査報告」本田重彦会計監事

総会に引き続き午後五時より同場所に於いて懇親会が開催されました。

《懇親会》



平成17年度 総会出席者

副会長 西野仁彦

今年も例年通り八月六日（土）～七月（日）と普賢院への一泊旅行が執り行なわれました。一時の涼を求めて本年は十九名といつもより多くの参加者を見、楽しく賑やかに交歓出来た。

「昨年、墓所は手に入れたが、墓石他、慰靈碑建立に皆さんのご協力をお願いします。」との会長の挨拶の後、足立副会長の乾杯と和やかに時の経つ足立副会長の乾杯と和やかに時の経つのを忘れる宴が始まった。

翌日は、早朝より勤行に全員参加、学園関係物故者の靈に思いをはせ、仏塔下にて安置されている仏舎利を拝した。記念撮影後バスにて奥の院近くまで送つて頂いて参拝、帰りに墓所に普賢院さんにて建てて下さった成器学園関係物故者之碑の墓標を見、早く墓石を建てねばと思った。

横の湯温泉では、いつも通り、マツタリとしたお湯につかり天然船の塩焼きをいただき、それぞれ昼寝をしたり、

## 高野山普賢院一泊と 槇の湯温泉旅行

子供と川原に降りたりしてゆづくと時を過ごした。

このような、のんびりとした旅に多くの方々の参加を期待致します。

普賢院には、芭蕉庵と言う建物があり芭蕉の句碑も建っていて、俳句に關係深いお寺とのことで、参加者の鬼追嘉雄氏が次の二句を奉納された。

普賢院走、根に苔

百日紅（セイゼイキ）

涼風の高野の坊の

胡麻豆腐

鬼追嘉雄



高野山普賢院 出席者

平成十七年度

## 秋季懇親会開催

事務局長 甘佐 勝

平成十七年十一月十九日（土）午後六時より、ニューミュンヘン大使館に於いて秋季懇親会が開催されました。

ご来賓として学園から渕上英範理事長・北浦敬次校長先生・理事の先生方始め部長以上十名の先生方・PTA会長向山様・副会長高原様二名のご臨席と同窓生五十名（計六十数名）の出席を戴きました。集合写真撮影後、司会米田耕作副会長から開宴宣言された。

一部が始まる。物故者への瞑想に続き「和田貞夫会長の挨拶」「渕上英範理事長の挨拶」そして「北浦敬次校長先生の学事報告」等、ありがとうございました」挨拶と報告を賜りました。

続いて、大阪府私学教育功労者知事表彰を受賞された、教頭、学園常務理事北原祥弘先生に成器会から金一封を贈呈された。

これより二部に入ると司会の合図により藤井昭三顧問の乾杯の音頭で宴会

に入り、歌手・林田麻友子の魅了する歌声で大いに盛り上り諸先輩方の自慢の喉・学生時代の話に時間が経つのも忘れて楽しい一時を過しました。校歌の大合唱・万歳三唱・又来年も多数の出席に期待し、田仲弘義副会長の閉会挨拶で無事幕を閉じた。



平成17年度 秋季懇親会出席者

## 成器会活動報告

- 平成17年5月7日（土）午後2時～ 行準備について  
出席者16名 学園関係物故者慰靈之碑建立資金の拠出方御協力について
- 第2回役員委員会 於 本校3階教室 総会資料最終確認
- 平成17年2月22日（火）午前10時～ 於 本校 参加者19名 大阪学芸高等学校卒業式
- 和田会長出席
- 平成17年3月5日（土）午後2時～ 出席者20名 役員委員会 於 本校会議室 総会準備（定期総会・懇親会） 同窓会名について（成器会・徳器会）に絞る
- 総会・懇親会・案内發送
- 平成17年5月21日（土）午後3時～ 行 定期総会 於 道頓堀ホテル 議長に米田弘副会長、副議長に漣良介副会長が選出されました。  
(報告事項) 行事報告・決算報告・監査報告 青年部より活動報告・決算報告それぞれ報告承認されました。
- 同窓会名の変更  
(審議事項) 行事計画案・予算案・
- 平成17年9月30日（金）午後3時～ 於 大阪府立体育館 緊急役員会
- 平成17年4月6日（水）午前10時～ 於 大阪学芸高等学校 入学式 和田会長出席
- 和田会長出席
- 平成17年9月30日（金）午後5時～ 同窓会名の変更  
成器会（大阪学芸同窓会）に改名となりました。規約改正それぞれ説明がありすべて承認可決されました。総会に統じて同場所にて懇親会が催された。
- 平成17年10月22日（土）午後2時～ 出席者15名 第4回役員委員会 於 吾作どん  
・慰靈碑建立の募金状況について  
・秋季懇親会の準備について
- 平成17年12月17日（土）午前10時～ 出席者 和田会長・足立副会長他  
・校祖祭
- 平成17年4月9日（土）午後2時～ 出席者21名 第1回役員委員会 於 本校会議室 同窓会名について  
・総会準備（式次第について）  
・役員改選について
- 平成17年6月15日（水）午後5時30分～ 出席者14名 第3回役員委員会 於 御用  
・高野山普賢院一泊と横の湯温泉旅
- 平成17年11月19日（土）午後6時～ 出席者60名 会場・ニューミュンヘン大使館 「平成17年度秋季懇親会」  
5時30分受付開始・定刻6時より、司会・米田耕作副会長の開会宣言で開幕
- 平成17年12月4日（日）午後3時～ 出席者18名 緊急役員会  
於 浪花そば
- 平成17年12月24日（土）午後3時～ 出席者17名 第6回役員委員会と忘年会  
・3時～会報校正・4時30分忘年会  
於 安倍乃莊
- 第5回役員委員会 於 本校2階 会報「第11号」発刊準備について  
(第11号) 曽我家明蝶  
・来年度・森寫絵師（予定）  
表紙・4コママンガ

# 活動報告

## ボーリング大会

平成十七年一月二十六日午後から、大阪堺の中百舌鳥ワコートレーンでボーリング大会が開催されました。主に学生が中心となりパワフルなゲームを開きました。チーム対抗での勝負となり、今回の優勝チームは、寺下チームで個人優勝者は、景品が手渡され大変盛況となりました。

## 青年部 新卒歓迎会

新生活がスタートして間もない四月二十三日(土)「御用」にて歓迎会を行いました。就職する者、専門学校や大学に進学する者、進路は皆それぞれ違つけれどもやっぱり同じ成器・芸の仲間、先輩後輩、年齢の差はあるけれど、あつという間にうつとけて笑顔がこぼれ、近況報告やお互いの趣味の話題などに花が咲き、楽しいひと時を共に過ごすことができたと思います。

いものですね。  
皆さんも一緒に楽しいひと時を過しましたか。

## 青年部 キャンプ＆バーベキュー大会

平成十七年八月二十七日(土)・二十八日(日)、青年部恒例のキャンプ＆バーベキュー大会が、大阪府河内長野市岩湧キャンプ場にて開催されました。初日は、昼の十二時に集合、わくわくしながら食材を全員で吟味して買つたり花火をあれこれ選んだりしてキャンプ場に到着、テント張り部隊、コック部隊、それぞれ得意分野に別れ準備を完了。全員で料理をつまみながら乾杯。そのうちに仕事帰りの仲間達も駆け付けてくれ次第に人数も増加、盛り上がった所で花火大会、同窓生の



## 青年部 ゴルフコンペ

第5回成器会青年部ゴルフコンペの報告

日時： 平成十七年七月十七日(日)  
場所： グロワールゴルフ俱楽部  
天候： 晴れ

前青年部長 寺下氏はじめ、成器学園卒業生の同志七名  
「二十代から四十代までのメンバー」  
にて和気藹々とした雰囲気の中、お天

子供達と一緒に青年部員達も子供の様に花火を楽しみました。

翌日は、少し冷やりとした空気に目を覚まされ、朝食の準備、縁に囲まれた爽快な朝食を楽しみました。来年もきっと皆がまた参加してくれる」とでしょう。



## 青年部 秋季懇親会

平成十七年十月二十一日(土)大阪難波の「花心」で新卒、社会人、学生等様々な同窓生が集まって秋季懇親会を開催しました。今回は、新卒生の参加も多く、賑やかな会合となりました。学生生活を満喫している人、社会人で活躍している人、色々色々な思いを語り合っていた様です。

最後に、来るべき本部同窓会の秋季懇親会への参加を誓い散会しました。  
**(同窓生短信)**  
現在、関西大学工学部に入学してから半年も過ぎました。大学生活にもなれば、バイトにスポーツにいろいろなことに挑戦し、広い知識と他の分野の友達を作り易くやっています。

気にも恵まれ楽しくゴルフをエンジョイすることが出来ました。

ラウンド終了後の会食にて、青年部応援部隊にも合流頂き、盛大に盛り上がりました！

成績発表及び表彰式にて、初参加の(六一年卒)堀江氏が優勝を納めゴルフコンペも渋り無く無事に閉会致しました。

## 輝く未来へ



PTA会長

向山江美子

春季同窓会に引き続き、秋季同窓会  
懇親会に招待をいただき、誠にありがとうございました。  
現役PTAとして副会長と長い歴史を持つ会に出席させて  
いただきました。感謝申し上げます。

思春期を迎えた子供たちの多くが、  
自尊心が育っていないことからくる規  
範意識の低下や、連帯感の希薄化から  
自己のコントロールする力が弱くなっ  
てきている」と等が指摘されています。

大阪学芸高校の二学期は文化祭、体  
育祭等大きな行事がありますが、それ  
らを覆すがごとく、生徒たち一人一人  
がお互い尊重し、協力し合いながら決  
められた役割を一生懸命に取り組む姿  
が印象的で、感銘を受けました。

その全ての生徒たちが無事に卒業  
し、輝かしい未来を築く一員となるこ  
とを願います。



PTA活動として、子供たちの健全な育成の為にこれからも、陰ながらサポートを惜しまず続けていき、先生方とコミュニケーションを詰り努めて参ります。

最後になりますが、成器会（大阪学芸同窓会）の益々のご隆盛と会員皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 伊丹啓次名誉会長が 一〇〇才の誕生日



（現成器会）を結成し、初代の会長に就任され同窓会の基礎をつくられたのであります。その伊丹名誉会長が昨年12月24日(土)に、会報11号の編集会議を兼ねた、役員会を開催していました大阪阿倍野区の安倍乃荘にヒヨックリと元気な姿を見せられました。

役員会終了後伊丹名誉会長の百才誕生日のお祝と激励の会を催しました。

成器会（大阪学芸同窓会）の生みの親である伊丹啓次名誉会長が昨年12月22日に百才の誕生日を迎えるされました。伊丹名誉会長は一九〇五(明治28)年12月22日に豊中市で誕生、成器商業学校に学ばれ、一九二五(大正14)年に卒業された一部20期生です。伊丹名誉会長は同窓会のない学校は発展性がないと考えられ、当時校長であった渡辺辰夫先生（一部22期生）や当時教諭の橋本幸太郎先生（一部35期生）らと成器学園同窓会



# 平成18年度 年間行事のご案内

成器会では、次の通り平成十八年度の年間行事を開催致します。奮ってご参加下さい。

## ●総会及び懇親会

平成十八年五月二十日(土) (場所:道頓堀ホテル)

三時～総会 五時～懇親会

## ●高野山普賢院一泊と模の湯温泉旅行

平成十八年八月五日(土)～六日(日)

## ●秋季懇親会

平成十八年十一月十八日(土) (場所:ニューミュンヘン大使館)

五時三十分集合 六時開会

## ●忘年会

平成十八年十二月二十二日(土) (場所については追ってご案内します)

※右記諸行事に参加希望の方には案内状を送付させていただきますので、同封の葉書にて卒業期・年度・住所・ご貴名・TEL・FAX等の記入の上、( )送付下さい。

宛先 〒553-0003

大阪市住吉区長居一丁目十五

## 成 器 会

(大阪学芸同窓会)

TEL〇六(六六九三)六三〇一  
FAX〇六(六六九三)五一七三

※やむをえない事情により日程を変更することもありますので、参加希望の方はその都度役員にお聞き下さい。

## 計報

「近去の通知を頂いた方々のお名前と卒業年次を掲載し、故人の冥福を祈るとともに同窓生各位にお知らせします。」

御存名	卒業期	死亡年月日	種田	秋夫(昭和14年～昭和34期)(平16・12・25)
浅井 重朝	(平成2年高音2期)	(平16・11・ )	鈴木 順吉(昭和15年～昭和35期)	(平16・ )
加畑 敏男	(昭和41年高音15期)	(平17・3・27)	佐野 誠一(昭和19年～昭和30期)	(平15・9・1)
土肥 英治	(昭和14年～昭和25期)	(平17・ )	杉野 幸夫(昭和21年～昭和31期)	(平16・ )
宇治丸 審(昭和17年～昭和37期)			絵川 長泰(昭和25年高音12期)	(平15・11・12)
本田 篤(昭和43年高音20期)	(平14・2・25)		安田 雄一(昭和37年高音14期)	(平17・1・8)
栗谷万次郎(昭和9年～昭和20期)	(平17・4・27)		井宮 洋司(昭和39年高音1期)	(平16・3・2)
中川 景潤(昭和19年～昭和39期)	(平17・ )		鶴崎 雄二(昭和41年高音18期)	(平14・7・17)
松田 優二(昭和24年～昭44期)	(平17・3・29)		山田 政宏(昭和27年高音24期)	(平14・2・9)
大矢 五朗(昭和8年～昭19期)	(平17・ )		遠藤 安彦(昭和51年高音13期)	(平15・ )
小林 岩雄(大正15年～昭21期)	(平17・11・25)		上原 雄(昭和60年高音22期)	(平15・10・12)
藤井 勇夫(昭和35年高校12期)	(平15・5・9)		田村 洋平(平成10年高校卒業)	(平13・ )
柏原 俊明(昭和23年～昭43期)	(平13・9・ )		山口富太郎(昭和18年～昭38期)	(平13・9・ )
徳田 義雄(大正12年～昭18期)	(平4・ )		木村 康(昭和31年高校8期)	(平16・10・28)
笹岡 恵一(元 教員)	(平16・10・11)		吉木 李雄(昭和13年～昭33期)	(平5・11・30)
西海 利勇(大正15年～昭21期)	(平16・10・24)		池田和三郎(昭和19年～昭39期)	(平17・2・ )
西尾 駿(昭和4年～昭24期)	(平16・8・ )		中山要次郎(昭和13年～昭33期)	(平16・12・30)
村澤 助良(昭和5年～昭26期)	(平16・8・26)		斧田 敏夫(昭和16年～昭36期)	(平17・7・ )
柴井憲代(昭和7年～昭18期)	(平16・ )		中村豊喜(昭和16年～昭36期)	(平17・10・9)
杉原 達(昭和9年～昭20期)	(平17・1・11)		長野 道(昭和16年～昭36期)	(平17・8・9)
石幸 利康(昭和10年～昭21期)	(平16・12・15)		松田 優二(昭和24年～昭44期)	(平17・3・29)
辻川 潤(昭和9年～昭29期)	(平16・ )			
粉川 忠雄(昭和10年～昭30期)	(平16・ )			
林 廉(昭和10年～昭30期)	(平16・8・14)			
安藤 弘高(昭和12年～昭32期)	(平16・2・13)			
今井 義明(昭和13年～昭33期)	(平16・6・30)			
安達 清策(昭和13年～昭33期)	(平16・3・9)			



# 「学園関係物故者慰靈之碑」 建立資金の募金にご協力をお願いします。

わが母校は校祖遠藤二吉先生が一九〇三（明治三十六）年六月に大阪市浪速区馬渕町（現戎本町二丁目）に建学されてから今年で一〇三周年目を迎えます。卒業生は三万余名、経済界を始め各界で活躍され幾多の功績を残してござりました。私たちの大先輩の中に古い卒業生として川柳の岸本水府先生（一部四期生）、高野山金剛峯寺（元管長の森寛紹師）（一部七期生）、喜劇俳優の曾我廻家明蝶師匠（一部二十一期生）又元阪神タイガースで速球投手として名をはせられました梶岡忠義氏（一部三十期生）や全国中等学校相撲大会で優勝して成器の名を挙げた下村慶次・井上清・古田隆（一部二十三期生）の諸氏等スポーツ界で活躍された方々があげられます。

さて平成十五年度の同窓会総会で「学園関係物故者慰靈之碑」の建立を行い百年に及ぶ学園歴史の中で物故者になられた卒業生、教職員、PTA関係者、学園関係者を合祀することに決定し、早速基金募集に取り組み、大先輩の森 寛紹元高野山金剛峯寺管長が院主をされていた普賢院の協力を得て、建立予定敷地は取得させて戴き、いよいよ本年は建立の段階に至りました。是非着工致したいと存じます。

つきましては景気不振の折ではありますか事情をござるが、この事業が達成するこ出來ますよう建立費用の幾許かを「負担戴き基金の拠出方に協力を賜りますよう伏してござります。

願申し上げる次第でございます。

- 一、募金の目標額 一、〇〇〇万円
- 一、募金の申込み方法 一口一萬円

（何口でも結構です）同封の払込取扱票で払込んで下さい。

## 「学園関係物故者慰靈之碑」

### 建立実行委員会

#### 委員長

和田 貞夫

#### 実行委員

上野寅次郎	田仲 弘義	米田 耕作	久米 雅男
西野 仁彦	井原 靖二	米田 弘	足立 好一
漣 良介	松村 光三	田中 敏文	仲西 晃
甘佐 勝	鈴木 清	高木 康之	

#### 追記

平成十七年十一月三十日現在までの応募金額は百五十二件計五百三十一万八千二十五円で、なお役員会の決定で「十万円以上」の基金拠出者の方には慰靈碑建立場所にご芳名を刻み末永く保存させて戴くことになりましたので併せて申し添えさせて戴きます。

慰靈碑建立寄付者芳名録

慰靈碑建立募金は平成十六年十二月一日、平成十七年十一月三十日まで六十件、金二百五万円也の温かいご協力を賜り、深く感謝の意を表し、改めて厚くお礼申し上げます。（敬称略・到着順）



東川 博(昭和20年卒) 大阪市平野区

平成18年度  
成器会への  
募金につきご支援方  
お願ひ

平素は、成器会（大阪学芸同窓会）に対し物心両面に亘り、温かいご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

平成十七年度（平成十六年十一月一日～平成十七年十一月三十日まで）募金事業は、募金者数（六十三名）、金額（五拾万九千円）に達する多額のご寄付をお寄せ頂きました。この募金にご協力頂きました方々のご芳名を（15頁）に記載させて頂きました。

ここに改めて深く感謝の意を表します。

既に、ご承知の通り、景気は日々に回復傾向に成って来ていますが、未だ低迷続きであり、雇用不安の経済情勢の中では、募金の集まりが悪くなるのも致し方ない」とと思われますが、私たちの母校が創立百三年目を迎えることになり一昨年は、生徒数も史上最高となり、その勢いは、年とともに高揚し、志願者数では、大阪の私学で一番の数になり収容能力にも限界に来ている状況あります。

さらに、進学も飛躍的に目に見えて伸びて來ており、他校の羨望的になつてきています。これを機に、成器会の更なる発展を目指すためにも成器会報を通じ母校と同窓生との心の絆を

しつかりと結びつけ、可能な限り募金活動を続けて実施致します。

同窓会が健全で活発に運営されている学校は世間の評判も良好です。この会報を全同窓生にお届けすることで、最近の学園の意気盛んな様子を知つてもらい、母校への関心を高めて頂き、同時に成器会活動にもご理解とご協力を得たいと考えております。

平成八年度からは、年会費もお願いし、これが自らも自助努力で会報の発行を継続するため、成器会各位の積極的なご支援、成器会活動の活性化、財政の健全化及び会報継続発行等々に資するため、何卒ご理解を賜り、ご協力、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

副会長兼書記 田中敏文

募金先 成器会（大阪学芸同窓会）  
平成十八年度募金事業本部

連絡先 テ 558-0003 大阪市住吉区長居  
一丁目四番十五号

募金主体 成器会（大阪学芸同窓会）

募金方法 一口一万円□数制限なし（ただし事情により一口単位に達しない場合にも喜んで）お受け致します。

委員	募金本部長
寺下 甘佐 漣 仲西 久米 和田	渡壁 辰夫（元校長）
正浩 良介 雅男 貞夫	米田 井原 靖二 弘
高木 鈴木 松村 上野寅次郎	足立 本田 西野 田中
康之 清三 光三	敏文 耕作 仁彦 重彦 好一

慶事

このたび左記の通り受賞されましたのでご報告いたします。

謹んでお祝い申し上げます。

●平成十七年十一月七日(日)於プリムローズ大阪  
大阪府私学教育功労者知事表彰

受賞 北原祥弘先生

昭和四十六年社会科教諭として就任。昭和五十四年に音楽科の教員免許を取得。勤続三十四年を迎えます。音楽科教諭として教科指導にあたつてございました。この間、同和教育部主任、教務部主任、募集対策部員、学園評議員などを歴任。現在、教頭、学園常務理事の任に当つておられます。

表彰状

北原祥弘様  
あなたは多年私立学校教育に  
従事し学校教育の推進に貢献  
されその功績誠に顕著であり  
ますので教育文化週間に当たり  
表彰します

平成17年11月7日

大阪府知事 太田房江

温かいご寄付に感謝します

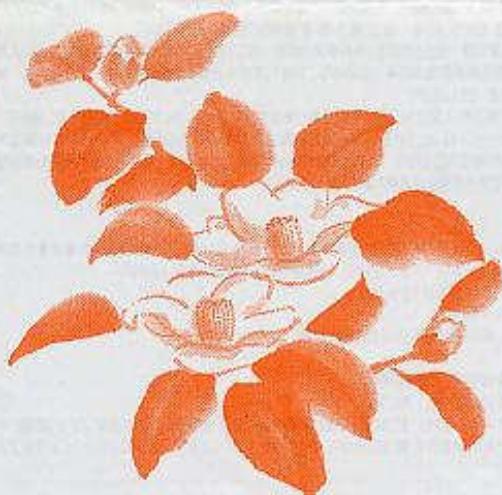
成器会（大阪学芸同窓会）・募金事業へのご支援を本会報を通じ、同窓生の皆様にお願いいたします。したところ、多数の皆様から温かいご寄付を頂戴いたしております。ここにご芳名を掲げ感謝の意を表します。

○平成十六年十一月一日以降平成十七年十一月二十日までの受付は次の通りです。(敬称略・到着順)

金  
額  
五  
十  
万  
九  
三

金額五十九万円也

仲本美代雄(昭和13年卒)	高田	造志	昭和53年	堺市
川田	鴨志田長只(昭和21年卒)	峰夫(昭和20年卒)	忠雄(昭和10年卒)	粉川
土庵	功(昭和20年卒)	恵三(昭和34年卒)	吉村	田畠
高田	和明(元教員)	幸男(昭和20年卒)	井上佐治郎(昭和42年卒)	吉村
仲西	晃(昭和31年卒)	信夫(昭和14年卒)	仲西	高田
紅粉	飯田八四郎(昭和11年卒)	飯田八四郎(昭和11年卒)	豊中	大阪市住吉区
西川	富雄(昭和18年卒)	信之(昭和19年卒)	川崎	川崎市川崎区
中川	恭孝(平成10年卒)	光三(昭和34年卒)	堺	大阪市城東区
藤井	昭三(昭和20年卒)	藤井	岡山	市
松村	江間	宿屋	市	市
藤井	松村	川	市	市



田村	尚貴(平成12年卒)	松本	俊康(昭和33年卒)	藤井	北
仲本	美代雄(昭和13年卒)	丸山	光次(昭和28年卒)	大坂市東住吉区	郡
西	弘(昭和20年卒)	北畠	嘉弥雄(昭和37年卒)	大阪市淀川区	
高橋	剛(昭和63年卒)	松田	悦寛(昭和58年卒)	大阪市西成区	
風呂谷	幸藏(昭和49年卒)	堺	羽曳野	堺	
北村	裕次(昭和63年卒)	奈良	大坂市東住吉区	市	
吉田	秀勝(昭和25年卒)	横浜	市	市	
健一(平成9年卒)		市	市	市	

副会長兼会計 井原靖二

一 平成十六年四月一日から平成十七年三月二十日迄の収支決算 財産目録は左記の通りです。  
二 収支明細について概要を説明します。

一、収入面は、平成十七年三月の卒業生から納付された会費が四六・八%、同窓各位から寄せられた年会費・寄付金（募金）が二八・七%で残りは、会報広告収入と十五年度より開始した慰靈碑建立募金（二二・二%）並びに特別会計剩余金（三・二%）等です。

二、一方支出面は、慰靈碑建立土地代金（高野山普賢院）百四十万円で一六・九%並びに同窓生に配布する会報の印刷費と通信費が二百五十四万九千円で支出の四一・〇%を占めています。次いで学園の諸行事（入学式・体育祭・吹奏楽部の春季総会演奏出典・空手道部のインター杯出場等）同窓会関係者に対する慶弔費・寄贈費として金一封を賜り諸活動に協力しているのが二・四%を占めています。

その他の支出として卒業生全員に卒業証書を入れる丸筒を進呈したり、同窓会幹事に就任して頂く新卒業生三十名に委嘱状と記念品を贈呈している記念品費が一・六%です。

○ 平成十六年度の「募金」は同窓生のご支援、ご協力により募金者数六十三名、募金額五十六万六千円に達しました。

○ また「年会費」も納入者三百七十五名、納入額百十二万五千円の温かいご協力を賜りました。

○ 「慰靈碑建立募金」についても募金者四十名、募金額八十六万円のご協力を賜りました。

ここに、深く感謝の意を表し、改めて厚くお礼申し上げます。

尚、決算関係諸表につきましては、会計監査を受けた上、平成十七年五月二十一日の定期総会において、ご承認を得ております。

平成16年度 収支計算書

(自 平成16年4月1日～至 平成17年3月31日)

中校二四

収入の部				単位：円
収入科目	実 算 額	予 算 額	予算比増減	備 考
経常収入	会 費	2,760,000	2,750,000	10,000
	年 会 費	1,125,000	990,000	135,000 @3,000円×375名
	貯金積金収入	568,000	900,000	-334,000 63名
	広 告 収 入	390,000	390,000	0 会員13コマ×30,000円
	計	4,841,000	5,030,000	-189,000
特別外収入	春季懇親会料金	860,000	3,000,000	-2,140,000 40件
	其 収 入	0	10,000	-10,000
	特別会計繰余金	190,959	200,000	-9,041 春季懇親会宿泊残金 45,250円 高野山一泊旅行精算残金 5,475円 秋季懇親会宿泊残金 140,234円
	計	1,050,959	3,210,000	-2,159,041
資産 収入	受取利息	1,656	1,000	656 定期預金利息・普通預金決算利息
	計	1,656	1,000	656
収 入 計	5,893,615	8,241,000	-2,347,385	
基 金 取 消	2,500,000	0	2,500,000	
前 年 底 積 余 金	5,034,811	5,034,811	0	
合 计	13,428,426	13,275,811	-152,615	

第十一冊

支 出 项 目	実 現 額	予 算 額	予算比増減	備 考
管 理 会 員 費	228,711	200,000	+28,711	会場費・記念品代・錦袋追加印刷・懇親会料費
建 設 及 び 設 定 費	1,400,000	0	1,400,000	慰労碑建立土地代(高野山御殿跡)
運 賃 車 費	99,800	300,000	-200,200	税金 4件 50,000円、乗合券 1件 5,000円、然るお供(源流) 1件 3,800円、喪失・耗材 2件 41,000円
寄 記 念 品 費	50,000	150,000	-100,000	卒業記念品への活動費現金 20,000円、次事業案への活動費現金 10,000円、总体育苗現金 20,000円
印 刷 費	102,000	150,000	-48,000	卒業証書用丸角 63,000円、新卒誕生幹事会章記念品 39,000円
印 刷 費	2,016,722	1,957,000	+59,722	既存会員学年別会員登録料 1,325,903円、各行事案内料 180,337円、平成16年度卒業生名簿作成料 36,010円、既存会員学年登録料 13,950円、平成16年度年会費払込枚数現金コピー代 1,250円、郵便料込用紙代(2冊) 251,212円
通 信 費	1,295,718	1,440,000	-144,282	既存会員14,887通宛送達料 L0222462円、各種会報運行手数料八才子 24,100円、電話料 40,588円
青 年 会 員 費	300,000	300,000	0	インターネットサービス料 45,191円、会員登録料(登録料) 8,000円、その他封書等郵送料 22,310円、既存会員登録料 120円、次事業案会員内訳料 55,010円、横井寺市長井園氏招待料 2,880円、平成16年度年会費払込枚数現金料 22,540円
広 告 宣 伝 費	0	0	0	活動資金支援
支 払 手 数 料	245,562	262,000	-16,438	専金、会員の口座振込手数料 34,370円、会員表紙デザイン料 60,000円、会員登録料(登録料) 147,220円、銀行手数料 11件 2,310円、残高証明料(手数料) 13件 1,620円
事 業 施 設 費	360,000	360,000	0	事務局販賣当 30,000円*12ヶ月
会 議 費	4,880	50,000	-45,120	役員委員会飲料・茶葉等
旅 費 交 運 費	35,300	80,000	-44,640	銀行・郵便局・和田会長事務所訪問交通費
消 費 品 費	0	0	0	
耗 耗 品 費	3,284	150,000	-146,716	文房具、現金書留封筒、錠紙用紙
相 税 公 關 費	326	200	126	受取利息に対する源泉税、18,358円
其 他	88,236	100,000	-11,764	会員登録費用(フィルム・OPE) 32,945円、会計監査賃料・昼食 3,790円、PCA会計ソフト開発(しまんリサイクル・サービス契約年会費 26,250円、PCA会計ソフト開発(しまんリサイクル・サービス契約年会費 5,250円
予 算 費	0	100,000	-100,000	
支 出 計	6,210,598	5,899,200	611,398	
基 金 相 入	2,000,000	2,000,000	0	
次 年 度 総 組 合	5,217,828	5,676,611	-458,783	
合 計	13,428,426	13,275,811	152,615	

## 財産目録

平成17年3月31日現在

### 1. 普通財産(繰越残高)

項目	平成16年度	平成15年度	前年比増減
手許現金(会計)	246,788	152,118	89,670
手許現金(校内開係分)	92,921	205,398	-112,477
普通預金(三井住友銀行西田辺支店)	3,319,994	2,298,495	1,021,499
普通預金(近畿大阪銀行西田辺出張所)	36,279	35,384	895
郵便振替(往吉長尾西郷便局・年会費口)	703,160	716,610	-13,450
郵便振替(往吉長尾西郷便局・募金口)	818,686	1,621,806	-803,120
建設販勘定(慰靈碑建立金)	2,400,000	1,000,000	1,400,000
計	7,617,828	6,034,811	1,583,017

### 2. 基金

項目	平成16年度	平成15年度	前年比増減
定期預金(近畿大阪銀行西田辺出張所)	—	2,500,000	-2,500,000
定期預金(三井住友銀行西田辺支店)	2,000,000	—	2,000,000
計	2,000,000	2,500,000	-500,000

## 貸借対照表

平成17年3月31日現在

資産の部		基金の部	
科目	金額	科目	金額
現金	339,709	基金	2,000,000
普通預金	3,356,273		
郵便振替	1,521,846	剰余金	7,617,828
定期預金	2,000,000	(前期繰越剰余金)	(4,034,811)
建設販勘定	2,400,000	(当期剰余金)	(3,583,017)
資産合計	9,617,828	基金合計	9,617,828

## 剰余金処分計算書

平成17年5月21日現在

項目	金額
1. 当期末未処分剰余金	7,617,828
2. 剰余金処分額	
(1) 基金組入額	1,000,000
(2) 次期繰越剰余金	6,617,828

## 募金事業納入状況

区分	平成16年度		平成15年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成15年度分	1名	1,000	1名	5,000	0名	-4,000
平成16年度分	15名	177,000	63名	569,846	-48名	-392,846
平成17年度分	46名	368,000	—	—	46名	368,000
特別寄付分	1名	20,000	2名	43,300	-1名	-23,300
計	63名	566,000	66名	618,146	-3名	-52,146

## 年会費納入状況

区分	平成16年度		平成15年度		前年比増減	
	納入者数	納入額	納入者数	納入額	納入者数	納入額
平成13年度分	—	—	1名	2,000	-1名	-2,000
平成14年度分	—	—	3名	9,000	-3名	-9,000
平成15年度分	1名	3,000	72名	216,000	-71名	-213,000
平成16年度分	174名	522,000	201名	603,000	-27名	-81,000
平成17年度分	200名	600,000	—	—	200名	600,000
計	375名	1,125,000	277名	830,000	98名	295,000

## 慰靈碑建立募金納入状況

区分	平成16年度		平成15年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成15年度分	—	—	74名	2,698,025	-74名	-2,698,025
平成16年度分	40名	860,000	—	—	40名	860,000
計	40名	860,000	74名	2,698,025	-34名	-1,838,025

## 成 器 会 (大阪学芸同窓会)

会長 和田 貞夫

## 年会費納入についてのお願い

昨年末は景気が芳しくないまま年明けとなりましたが、成器会活動については多大なご協力を戴きました。感謝申しあげます。本年は同窓会が結成されて32年目になりますが、本校は浪速区の旧校舎が戦災で焼失し、戦後住吉区長居の現校地に一棟四教室から成器商業高等学校が再建され今日に至っているのであります。

さて、この成器会会報「学芸」は同窓生間の絆(きずな)を結ぶ唯一の手段で同窓会が続く限り発行を継続してゆくべきものですが、その発行費用(印刷費と郵送費)が多額の経費となります。年1回の会報によって各種の連絡と報告が行えている限りは止むを得ないと存じます。

同窓会活動をより活発化して行くためにも財政の充実・確立は重要です。今後学園の発展と成器会活動を充実させるために皆さまの一層のご協力をお願いします。同封の振込用紙をご利用の上、納入方と同期生への働きかけもよろしくお願いします。

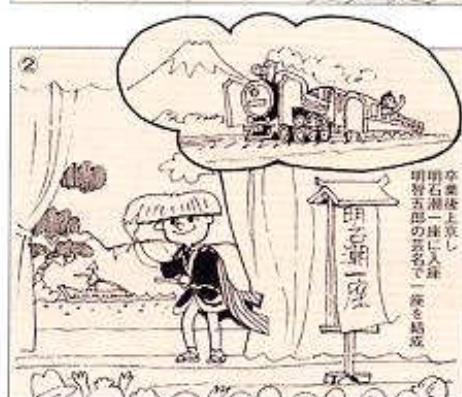
①成器会年会費 1人3,000円 ②成器会事業基金 1口1万円(何口でも結構です)

③学園関係物故者慰靈之碑建立基金 1口1万円(何口でも結構です)

何れも同封の振込用紙をご利用の上、ご納入方お願いするとともに払込票の受領証をもって領収証に替えさせていただくことにご了承下さい。

## ※年会費納入状況

年 度	納 入 者	納 入 金 額
平成13年度(平13/4/1~平14/3/31)	371名	1,037,000円
平成14年度(平14/4/1~平15/3/31)	328名	980,000円
平成15年度(平15/4/1~平16/3/31)	277名	830,000円
平成16年度(平16/4/1~平17/3/31)	375名	1,125,000円
平成17年度(平17/4/1~平17/11/30)	60名	180,000円



昭和の上方劇に大きな位置をしめた

新喜劇 曾我廻家明蝶

平成十八年度恒例の成器会(大阪学芸同窓会)総会並びに懇親会を左記の通り開催することになりました。  
学園の現在の飛躍的な発展、並びに同窓会のご報告等詳しくお聞き頂けると思います。  
つきましては、同窓生のお知り合いの方々をお誘い下さいまして、万障お繰り合わせの上、多数のご出席を頂けます様お願い申し上げます。

副会長兼書記 田中敏文

## 平成18年度 成器会総会及び懇親会

日時 5月20日(土) (忘れないように、手帳・カレンダー)  
にメモをしておいて下さい。

《総会》3時より 《懇親会》5時より

会費 ¥6,000円

会場 道頓堀ホテル

TEL 06-6213-9040(地下鉄御堂筋線ナンバ駅24番出口)

大阪市中央区道頓堀2丁目3番25号

各線ナンバ駅より徒歩3分、ニュージャパン西隣

- 出席して頂ける方は同封はがきにてお知らせ下さい。  
(総会に出席できない方でも、懇親会だけでも気楽にご出席下さい)
- 懇親会の出席の方にはお楽しみ参加賞をご用意致しております。

## 成器会(大阪学芸同窓会)よりのお願い

成器会(大阪学芸同窓会)は昭和49年に創立され卒業生は約3万余名に及んでいます。年1回の会報「学芸」発行を継続していくためには、同窓生のご協力が必要です。振込用紙を同封いたしますので、成器会のためにぜひ年会費と基金の募金並びに慰靈碑建立資金等へのご協力を戴きお振込をお願い致します。

※会報に関してご意見をお聞かせください。

あわせて住所変更、クラス会開催などもお知らせいただければ幸いです。

※〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15

成器会(大阪学芸同窓会)宛 ☎06(6693) 6301 FAX 06(6693) 5173

※ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~gakugei>

※メールアドレス [seiki-gakugei@yahoo.co.jp](mailto:seiki-gakugei@yahoo.co.jp)

[個人情報の取り扱いについて]

昨年4月に施行されました「個人情報保護法」に基づいてデーターは厳密に管理し、同窓会活動(会報発送等)以外の目的には一切使用いたしません。

### あとがき

成器会会報発刊後早や十一年目を迎えたお陰様で関係各位のご協力により平成十八年度会報第十一号を貴様にお届けする事が出来ました。

既に、本校創立百三年目を迎、「百年周年未央へ翔る大阪学芸」を合言葉で飛躍的に活力を帯びて来ており、我が母校として喜ばしい限りであります。

又、一昨年の入学状況も最近の少子化による生徒数の減少にもかかわらず、大阪の私立高校のトップを占める勢い、さらに昨年度は共学の上位進学校への飛躍をめざし、大幅なレベルアップとともに進学を目指としたハイレベルのコースを新設し、国公立大学の現役合格を目指して行くとする目標に今後躍進を期待する次第であります。

最後になりましたが、ご寄稿頂きました皆様方並びに広告掲載にご協力頂きました方々に深く感謝し御礼申し上げます。

終わりに皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り致しましてあとがきのご挨拶とさせて頂きます。

副会長兼書記 田中敏文

# 成器会会報「学芸」第11号

このたびは広告にご協力賜りまして誠にありがとうございます。  
会報発行の際、大きな財源となっております。学園と同窓生とを結ぶ会報「学芸」  
がより豊富な内容で末永く発刊出来ますよう、役員・委員一同努力を重ねて行きた  
いと思います。

<p><b>成器会名誉会長</b> <b>伊丹 啓次</b> (1部20期・大正14年卒業) 株式会社伊丹ビル社長・大阪学芸顧問 〒561-0814 豊中市豊南町東3-14-4 TEL 06 (6331) 0745</p>	<p>税務・労務・法律・行政をはじめ 中小商工業者のあらゆる相談は…  <b>大阪中小企業経営センター</b></p> <p><b>理事長 和田貞夫</b> 成器会会長 (大阪学芸顧問・1部39期・昭和19年卒業) 〒590-0945 堺市堺区戎之町東2丁目番38号 音楽ビル2階 TEL(072)221-5115 FAX(072)221-5055 E-mail: keiei@mbl.kisweb.ne.jp URL: http://www.kisweb.ne.jp/keieicenter</p>	<p>社会福祉法人いわき学園理事長 財団法人住吉名勝保存会理事長 <b>こうの 高野 光男</b> (2部22期・昭和11年卒業) 〒559-0013 大阪市住之江区御崎1-6-29 TEL (06) 6681-1300(代)</p>
<p><b>足立硝子株式会社</b> 〒556 大阪市浪速区日本橋東2丁目2-6 TEL: 大阪 (06) 6643-0335 FAX: (06) 6643-5677 〒452 愛知県清須市西枇杷島町古城2-4-3 TEL: 名古屋 (052) 506-7505 FAX: (052) 506-1633 代表取締役会長 <b>足立好一</b> (高校1期・昭和24年卒業) 学校法人大阪学芸顧問・成器会議会長</p>	<p>アルミニウム・マグネシウム (材料・加工品) 表面処理  <b>植田アルマイド工業株式会社</b></p> <p><b>会長 植田健太郎</b> (1部36期・昭和16年卒業) 本社工場 〒599-8102 堺市石原町1-103 TEL(072)259-2225(代表) 硬質工場・三重工場 Eメール ua-int@uedaalmite.co.jp ホームページ www.uedaalmite.co.jp</p>	<p> <b>丸善電機産業株式会社</b> 常務取締役 <b>橋本浩行</b> (大阪学芸評議員・高校(普)18期生・昭和56年卒業) 本社 〒547-0033 大阪市平野区平野西1丁目2番6号 TEL(06)6797-1133(代) FAX(06)6797-1137 中国工場 江蘇省昆山市蓬朗鎮昆嘉工業区通銘路 TEL0512-5761-8711 FAX0512-5761-7917 URL: http://www.magnix.co.jp</p>
<p><b>株式会社 渡壁</b> (マンション:エトワール弁天) 代表者 <b>渡壁辰夫</b> (元校長 2部22期・昭和11年卒業) 〒552-0002 大阪市港区市岡元町3-4-5 TEL (06) 6583-4929・0674</p>	<p>電源開発株式会社 磯子火力発電所 構内 <b>洋光産業株式会社</b> 取締役 <b>飯田八四郎</b> (1部31期・昭和11年卒業) 本社 横浜市磯子区新磯子町37-2 〒235-0017 TEL (045) 755-1923 FAX (045) 755-1923 川崎営業所 川崎市川崎区小田3-15-13 〒210-0846 TEL (044) 333-7184 FAX (044) 333-7184</p>	<p>大阪学芸中等教育学校 大阪学芸高等学校 指定業者 <b>(有)才オサカユニフォーム</b> <b>北村 裕次</b> 大阪学芸売店 (高校(普)25期生・昭和63年卒業) 〒558-0001 大阪市住吉区大領2-6-27 TEL (06) 6695-3929 FAX (06) 6693-9716 学校売店TEL・FAX (06) 6695-1599</p>
<p>鉄・ステンレスパイプ 切断専門 環境に優しい商品の取り扱い <b>西野パイプ株式会社</b> 代表取締役 <b>西野仁彦</b> (高校11期・昭和34年卒業) TEL(072)255-0803 FAX(072)255-0804 e-mail: nishino-paiyu@mbl.nifty.com インターネットショップ(West Field) http://w-field.b-smile.jp/</p>	<p>製パン・製菓用クリーム 惣菜の製造販売  <b>株式会社 田中食品興業所</b></p> <p>代表取締役会長 <b>田中善三郎</b> (2部28期・昭和17年卒業) 〒590-0002 堺市砂道町3丁5番2号 TEL 072(238)0281(代) FAX 072(228)4161 http://www.tanaka.foods.co.jp</p>	<p>建物総合管理・アウトソーシングの トップカンパニーをめざして挑戦する <b>株式会社 大阪ビル管理</b> <b>課長 小川健一</b> (高校・平成9年卒業) 〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-22 TEL06(6352)3871(代) FAX06(6352)17895 URL: http://www.obk-net.co.jp</p>
<p>美術印刷・紙器製品 企画・提案・製作 <b>株式会社 ヒラックス</b> 代表取締役 <b>上野寅次郎</b> (大阪学芸理事・高校9期・昭和32年卒業) 〒542-0062 大阪市中央区上本町西5-2-8 TEL(06)6768-9551 FAX(06)6768-9555 E-mail:hilux@axel.ocn.ne.jp</p>	<p>成器会(大阪学芸同窓会) <b>会報「学芸」第11号</b></p> <p>●発行日: 平成18年1月25日 ●編集: 成器会企画部 ●発行所: 〒559-0003 大阪市住吉区長居1-4-15 TEL06(6693)6301 FAX06(6693)5173</p> <p>私も頑張っています。広告にご協力を!</p>	<p>■表紙絵及びイラスト 作家プロフィール はら たくみ イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員 (原 琢三) テレビ出演等々各種で活動中</p> <p>※表紙のイラストは曾我蕭家明媒 本名は北村弘一。昭和2年(1927)成器商業卒業。 船場生まれ、明石浦一座から昭和10年五郎劇に入り曾我蕭家明媒と名乗る。戦後松竹新喜劇に参加し劇団の名声に貢献するが、昭和38年フリーになり、他の舞台、テレビに出演する傍ら明媒芸術学校を創立して後進の育成に努力された。</p> <p>[明治41年(1908) - 平成11年(1999)]</p>